



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月30日

上場会社名 中外炉工業株式会社
コード番号 1964 URL <https://chugai.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 彰
問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 根来 茂樹
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
TEL 06-6221-1251

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	12,609	31.5	250		105		747	
2023年3月期第2四半期	9,585	2.5	692		566		272	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,548百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 527百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	99.37	
2023年3月期第2四半期	35.79	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	47,895	24,760	51.3
2023年3月期	41,178	24,041	57.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 24,591百万円 2023年3月期 23,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				70.00	70.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	21.5	1,900	45.1	2,000	27.0	2,160	75.5	285.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	7,800,000 株	2023年3月期	7,800,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	366,066 株	2023年3月期	217,533 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	7,517,587 株	2023年3月期2Q	7,609,764 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. その他	10
(1) 受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原材料・エネルギー価格の高騰、さらには急激な為替相場の変動が生じるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

一方で、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行されたことで、経済活動の正常化が進むと共に、2050年の脱炭素社会の実現に向けた政府の成長戦略を受け、企業の設備投資は増加傾向にあります。

このような事業環境のもと、当社グループは保有する豊富なエンジニアリングノウハウを駆使し、カーボンニュートラルに資するべく水素、アンモニア燃料の熱処理プロセスへの適用、及び熱処理プロセスの電化等の技術提案を行いました。加えて、EV向け電池、モータなどのキーパーツ製造プロセス用の熱処理設備、半導体関連の機能材熱処理設備に関連する独自技術に基づく、営業活動を展開しました。

その結果、海外向け脱炭素型大型高輝焼鈍設備や機能材火炎内処理設備、グリーンエネルギー生成ロータリーキルン、国内向け連続ガス浸炭炉などの成約を得て、受注高は前年同期比124.6%の16,872百万円と増加しました。

又、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「グリーンイノベーション基金事業／製造分野における熱プロセスの脱炭素化」において、当社が加入するコンソーシアム「脱炭素産業熱システム技術研究組合」が実施予定先として採択決定され、実施テーマ案件を1件受託しております。本テーマは国内3.7万基の工業炉に関する脱炭素化を推進するものです。

売上面につきましては、国内鉄鋼向け省エネ型加熱炉、焼鈍炉や水素系ガス加熱装置などの工事が進捗し、売上高は前年同期比131.5%の12,609百万円と増加しました。

利益面につきましては、原材料・輸送費高騰の影響を受け、調達コストダウン等に取り組みましたが、営業損失250百万円(前年同期は692百万円の損失)、経常損失105百万円(前年同期は566百万円の損失)となりました。一方で、政策保有株式について、資本効率の観点から保有メリットが希薄した銘柄は縮減するという方針に基づき、保有する株式の一部を売却したことに伴う売却益により、親会社株主に帰属する四半期純利益は747百万円(前年同期は272百万円の損失)となりました。

各分野別の概況は次のとおりです。

尚、第1四半期より、経営戦略推進の方向性と達成度をより明確にするために、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「エネルギー分野」「情報・通信分野」「環境保全分野」から、「熱処理事業」「プラント事業」「開発事業」に変更しております。前年同期比は、変更後の区分方法により作成した数値を使用しております。

(熱処理事業)

受注面では、国内向け半導体関連の機能材熱処理炉や高温炉、連続ガス浸炭炉などの成約を得て、受注高は7,515百万円(前年同期比103.4%)と増加しました。

売上面では、半導体関連の機能材熱処理炉や国内自動車向け無酸化設備、浸炭炉などの工事が進捗しましたが、売上高は5,142百万円(前年同期比95.4%)となりました。

(プラント事業)

受注面では、海外向け脱炭素型大型高輝焼鈍設備や機能材火炎内処理設備、国内鉄鋼向けビーム更新工事などの成約を得て、受注高は6,873百万円(前年同期比129.1%)と増加しました。

売上面では、国内鉄鋼向け加熱炉や焼鈍炉、水素系ガス加熱装置などの工事が進捗し、売上高は6,144百万円(前年同期比192.3%)と増加しました。

(開発事業)

受注面では、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「グリーンイノベーション基金事業／製造分野における熱プロセスの脱炭素化」案件や、グリーンエネルギー生成ロータリーキルンの成約を得て、受注高は2,240百万円（前年同期比719.4%）と大きく増加しました。

売上面では、水素系ガス加熱装置などの工事の進捗や、炭素繊維製造用炭化炉などを納入し、売上高は384百万円（前年同期比118.7%）と増加しました。

(その他)

受注面では、海外子会社において、中国向けモータコア焼鈍炉や蓄熱式排ガス処理装置などの成約を得て、受注高は2,601百万円（前年同期比134.4%）と増加しました。

売上面では、中国向け焼鈍・焼準炉や真空熱処理炉などを納入し、売上高は2,294百万円（前年同期比139.6%）と増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、現金及び預金や受取手形、売掛金及び契約資産などの増加により、前期末比6,717百万円増加の47,895百万円となりました。

負債合計は、短期借入金などの増加により、前期末比5,998百万円増加の23,134百万円となりました。

純資産合計は、その他有価証券評価差額金などの増加により、前期末比718百万円増加の24,760百万円となり、自己資本比率は51.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年7月28日に公表いたしました予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,884	9,688
受取手形、売掛金及び契約資産	20,693	23,707
棚卸資産	1,560	1,820
その他	81	228
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	30,214	35,439
固定資産		
有形固定資産	4,124	4,846
無形固定資産	291	268
投資その他の資産		
投資有価証券	6,121	6,893
その他	441	463
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	6,547	7,341
固定資産合計	10,963	12,456
資産合計	41,178	47,895
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	1,495	1,723
買掛金	7,860	6,207
短期借入金	2,800	8,900
引当金	77	230
その他	2,305	2,990
流動負債合計	14,538	20,052
固定負債		
長期借入金	1,188	1,380
退職給付に係る負債	127	139
その他	1,282	1,562
固定負債合計	2,598	3,082
負債合計	17,136	23,134

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,176	6,176
資本剰余金	1,544	1,544
利益剰余金	13,775	13,993
自己株式	△408	△709
株主資本合計	21,087	21,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,664	3,393
繰延ヘッジ損益	1	23
為替換算調整勘定	125	184
退職給付に係る調整累計額	△18	△15
その他の包括利益累計額合計	2,772	3,586
非支配株主持分	181	169
純資産合計	24,041	24,760
負債純資産合計	41,178	47,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	9,585	12,609
売上原価	8,098	10,579
売上総利益	1,486	2,030
販売費及び一般管理費	2,179	2,280
営業損失(△)	△692	△250
営業外収益		
受取配当金	106	133
その他	45	53
営業外収益合計	151	187
営業外費用		
支払利息	18	27
その他	6	15
営業外費用合計	25	43
経常損失(△)	△566	△105
特別利益		
投資有価証券売却益	52	1,143
固定資産売却益	75	-
特別利益合計	128	1,143
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△438	1,037
法人税等	△146	313
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△291	724
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19	△22
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△272	747

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△291	724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△358	729
繰延ヘッジ損益	11	22
為替換算調整勘定	98	69
退職給付に係る調整額	12	2
その他の包括利益合計	△236	824
四半期包括利益	△527	1,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△526	1,560
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△438	1,037
減価償却費	184	193
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
退職給付に係る負債及び退職給付に係る資産の増減額	15	△8
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△2	3
受取利息及び受取配当金	△107	△134
支払利息	18	27
投資有価証券売却損益(△は益)	△52	△1,143
有形固定資産売却損益(△は益)	△75	-
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	988	△2,939
未成工事支出金等の増減額(△は増加)	△686	△203
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,208	△1,525
契約負債の増減額(△は減少)	△40	843
その他	△319	△390
小計	△1,725	△4,238
利息及び配当金の受取額	107	134
利息の支払額	△12	△25
法人税等の支払額	△217	△258
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,848	△4,388
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	130	-
有形固定資産の取得による支出	△56	△697
無形固定資産の取得による支出	△28	△23
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	55	1,383
その他	△20	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	77	663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	6,100
長期借入れによる収入	400	400
長期借入金の返済による支出	△208	△208
配当金の支払額	△537	△530
自己株式の取得による支出	△150	△300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△496	5,460
現金及び現金同等物に係る換算差額	86	65
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,180	1,801
現金及び現金同等物の期首残高	11,092	7,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,912	9,646

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

第1四半期より、経営戦略推進の方向性と達成度をより明確にするために、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「エネルギー分野」「情報・通信分野」「環境保全分野」から、「熱処理事業」「プラント事業」「開発事業」に変更しております。なお、前年同期の受注及び販売の状況は変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

①売上高

(単位：百万円)

部 門	前第2四半期連結累計期間 2022年4月～2022年9月		当第2四半期連結累計期間 2023年4月～2023年9月		増減
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額
熱処理事業	5,390	56.2	5,142	40.8	△248
プラント事業	3,195	33.4	6,144	48.7	2,949
開発事業	323	3.4	384	3.1	61
その他	1,643	17.1	2,294	18.2	651
相殺消去	△967	△10.1	△1,356	△10.8	△389
合 計	9,585	100.0	12,609	100.0	3,024
(うち、海外)	(2,470)	(25.8)	(1,704)	(13.5)	(△766)

②受注高

(単位：百万円)

部 門	前第2四半期連結累計期間 2022年4月～2022年9月		当第2四半期連結累計期間 2023年4月～2023年9月		増減
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額
熱処理事業	7,264	53.6	7,515	44.5	251
プラント事業	5,324	39.3	6,873	40.8	1,549
開発事業	311	2.3	2,240	13.3	1,929
その他	1,935	14.3	2,601	15.4	666
相殺消去	△1,289	△9.5	△2,357	△14.0	△1,068
合 計	13,546	100.0	16,872	100.0	3,326
(うち、海外)	(3,648)	(26.9)	(4,702)	(27.9)	(1,054)

③受注残高

(単位：百万円)

部 門	前第2四半期連結累計期間 2022年4月～2022年9月		当第2四半期連結累計期間 2023年4月～2023年9月		増減
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額
熱処理事業	8,910	36.9	12,069	41.5	3,159
プラント事業	12,549	51.9	10,610	36.5	△1,939
開発事業	1,010	4.2	3,463	11.9	2,453
その他	2,786	11.5	4,648	16.0	1,862
相殺消去	△1,086	△4.5	△1,724	△5.9	△638
合 計	24,170	100.0	29,067	100.0	4,897
(うち、海外)	(5,075)	(21.0)	(8,361)	(28.8)	(3,286)